

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		須屋支所運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部
	施策	25	行政改革の推進		所属課	市民課
	基本事業	87	市民サービスの向上		所属班	須屋支所
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	2	1	18	11102	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須屋支所の運営管理を行なう事業である。平成15年7月に人口密集地である須屋地区住民の利便性向上を図るために開設し、合併後も引続き運営している。人口増と設置認知度の向上により利用者の増加、業務の広範囲化による職員一人当たりの業務量の負担が増えてきている。</li> <li>・平成25年2月12日に須屋支所を須屋市民センター内に移転した。</li> <li>・支所設備の維持管理と市民課、税務課のみならず基本的にすべての課の窓口業務(公金収納含む)を行っている。</li> </ul>
【業務の流れ】	①機器保守点検契約(コピー機 ※平成26年10月に財政課へ移管)、賃貸借契約(マットレス)、自動ドア保守点検契約 ②契約、支出負担行為及びそれに伴う支出
【主な予算費目】	①需用費(消耗品費、修繕費) ②役務費 ③委託料 ④使用料及び借地料 ⑤賃金(職員産休対応分)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・土、日の開所及び支所開所時間の延長の要望が少なからずある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	須屋支所の運営管理を行った。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 須屋支所の適正な運営
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人	予算の主な増減の理由
→施設利用者数	人	自動ドア保守点検料の増(支所増築後の保証期間を過ぎたため)及び床ワックス清掃費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	施設利用者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・支所の適切な運営管理を行う。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→人
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
①	活動指標	人	38,663	36,813	31,000	33,981	31,000	31,000	31,000	31,000
②	対象指標	人								
③	成果指標	人								
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	163	154	383	315	1,359	383	383
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	3,488	147	54	502				
	(A)事業費計	千円	3,651	301	437	817	1,359	383	383	0
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	4	0	4	4	4	0
延べ業務時間	時間		3,912	5,706	148	0	148	148	148	0
	(B)人件費計	千円	15,925	22,732	589	0	589	589	589	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,576	23,033	1,026	817	1,948	972	972	0

事務事業名	須屋支所運営事業	所属部	総務部	所属課	市民課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施設の維持管理及び運営管理は必須である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・単独施設から市民センター内に移設を完了しており、その施設内に移転する等の統廃合手段は考えられない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・現状でも職員で施設内外の清掃や案内看板の自作等を行なうことにより、維持費・運営費を減らす等努力を行なっている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・窓口運営についてアウトソーシング等外部資産(人員)を用いる事も人件費削減の有効手段の一つではあるが、法的問題等をクリアしない限りは、職員以外が行なうことは不適であると考えられる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・市の窓口サービスを提供する施設であり、公平性の評価には該当しない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・現状、施設の運営管理は適切に行われているが、人員配置を含む支所の規模が、人口の増加に対応できなくなることが推測される。早急に業務範囲の見直し、もしくは運営の規模を拡大させる必要があると思われる。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						